

ブラックアイスバーン スリップ⇒はみ出し⇒衝突

佐呂間 介護施設の送迎車の3人が、**車外に投げ出され死亡**

2015年12月5日(土)6時25分

4日午前9時前、佐呂間町の道道で介護施設に向かう送迎車が対向車線にはみ出し、軽乗用車と衝突した。この事故で、送迎車に乗っていた男性Aさん(82)、男性Bさん(84)、男性Cさん(96)の3人が路外に投げ出され、病院に運ばれたが死亡した。また、軽乗用車を運転していた女性も重傷。

事故当時、路面はブラックアイスバーン状態だった。警察は送迎車を運転していた男性容疑者(21)を過失運転傷害の疑いで現行犯逮捕した。岡明容疑者は調べに対し、「スリップして対向車線にはみ出した」と話しているという。

「100日間 冬期交通事故ゼロ運動」

平成27年11月20日(金)～平成28年2月28日(日)

- 冬道、スリップによる追突・横転事故の根絶
- わき見・居眠り運転の防止へ…自己管理の徹底
- 天候・道路状況に応じた適正なスピード
- デイ・ライトで、自分の車の存在を知らせて…事故を未然に防ごう

車間距離を十分に！ 滑って、追突を未然に防止

”スピードダウン”で安全運転

バック時は 降りて確認 乗っても確認

夕方、夜間、早朝 要注意！
歩行者が見えにくい 道路が滑りやすい

◆スリップ事故 注意！◆
交差点手前、滑って交差点内で衝突！注意

大型スーパー付近、高齢歩行者の”危険横断”に注意！

「ヒヤリ」は、事故の「予兆」！
「安全確認」で、危険な「まさか…」を根絶！

交差点 「右左確認／よ～し！」

スピードの出し過ぎ 中央分離帯にトラック衝突、産業廃棄物が散乱

2015年12月3日(木)19時41分

3日午後3時過ぎ、東京都の首都高速道路で産業廃棄物を運んでいたトラックが中央分離帯に衝突し、廃棄物が散乱する事故がありました。大量のごみが散乱して、道路をふさいでいます。この事故で積んでいた産業廃棄物が上下線に散乱し、反対車線を走ってきた2トントラックが廃棄物に乗り上げました。警視庁は産業廃棄物を運んでいたトラックのスピードの出し過ぎが事故の原因になった可能性があるとみて、運転手から詳しく事情を聴いています。

眠気を感じながら運転を中止しなかった

大型トラックの職業運転手にもかかわらず

最も基本的な注意義務を怠った

多重事故、6人死傷 トラック運転手に**禁錮3年**判決

2015年12月4日(金)8時8分

静岡県の国道で8月、大型トラックを運転してオートバイに追突するなどし、6人を死傷させたとして自動車運転処罰法違反(過失致死傷)の罪に問われた、無職の男性(55)の判決公判で、地裁は3日、**禁錮3年**(求刑禁固5年)を言い渡した。

裁判官は判決理由で、眠気を感じながら運転を中止しなかったことに対し、「より緊張感を持って運転すべき大型トラックの職業運転手にもかかわらず、最も基本的な注意義務を怠った。強い非難に値する」と指摘。「被害者やその家族に負わせた身体的、精神的苦痛は非常に大きい」とした。

判決によると、被告は8月12日午前6時ごろ、国道交差点で計4台が絡む**玉突き**事故を起こし、オートバイを運転していた男性会社員＝当時(53)＝を死亡させ、5人に重軽傷を負わせた。

危険ドラッグ裁判 元少年の懲役13年判決確定

2015.12.5 07:08

昨年5月に長野県で危険ドラッグを使って乗用車を無免許運転し、3人を死傷させたとして、危険運転致死傷などの罪に問われた当時19歳の元少年(21)に懲役13年(求刑懲役15年)を言い渡した地裁判決について、地検、被告双方が控訴せず判決が確定した。

元少年は昨年5月14日に中野市内の県道で、危険ドラッグを使い正常な運転が困難な状態で対向車線を逆走し、時速126キロを超えるスピードで対向車に次々と衝突。消防士の男性＝当時(25)＝を死亡させ、別の車2台の2人に重軽傷を負わせた。